

豊田小学校だより

令和2年6月8日
校長 大瀧 剛

6月から、ついに平常授業開始となりました！

5月18日（月）より1日2時間の短縮授業で再開した学校ですが、先週から、いよいよ平常授業を再開することができました。全国的にも緊急事態宣言が解除され、少し気持ちも軽くなったように感じます。しかし、まだ、終息したわけではありませんし、ニュースでも学校での感染が報じられるなどしています。”新しい生活様式”を意識し、”3密”を避け、これまで以上に感染拡大防止に注意していきたいと思えます。ご家庭でも、手洗いや検温等、子どもさんの体調管理にご協力をお願いいたします。

また、これまで延期や中止になった行事や活動がありますが、今後も学校行事や学習内容等、以前の様に実施できなくなることが多くなりそうです。状況に応じて、よりよい方法を考え、準備して、豊田小学校らしいよさを活かした活動ができるよう進めてまいりたいと思っています。



諸連絡です。

ALTとEST、そして相談員さんの紹介です

学校再開により、外国語の授業もはじまりました。今年度は、ALT（外国語指導助手 Assistant Language Teacher）のデヴィキ ライさんと、EST（英語指導助手 English Support Teacher）の田口操さんにお世話になっています。お2人ともほれほれするような発音で、子どもたちを巻き込んだ授業をしてくれています。英語は“たくさん聞いて、話すことが一番です”と教えていただきました。

また、子どもたちの心のケアを中心に活動して下さる、スクールカウンセラーの北田洋子さんと、ハートケア相談員の松本昌子さんが、定期的に来校してくれています。子どもさんのことで、心配事や悩み事があれば、どうぞお気軽にご相談ください。学校に連絡をいただければ、日時を設定いたします。

熱中症への備えを

マスクの着用が日常化している現状ですが、これからの季節は熱中症対策も大切です。のどが渇いていなくてもこまめな水分補給は必要ですが、体育等の授業時のみならず、登下校時や休み時間についても、暑い時や息苦しい時、マスクをはずして歩く、深呼吸する、汗を拭くなど、上手なマスクとのつきあい方を考えていきましょう。ご家庭でも、ぜひ子どもさんとの話題の一つにしていただけるとありがたいです。

メリケントキンソウ

先週、運動場に生えている雑草のなかに、とげのある”メリケントキンソウ”が生息していることがわかりました。種子に2mmの小さなとげがあり、肌で触るとさすかにチクツと痛いです。子どもたちには、草地内で手や膝をつかないよう話しています。草刈り機で根こそぎ刈り取ったり、バーナーで焼却したりしていますが、効果的な駆除方法があれば教えてください。

先週4日（木）、今年度前期の児童会役員、委員会委員長、学級委員の任命式を行いました。といっても、全校が一同に集まることはさけ、職員室から朝の放送で行うことにしました。順番に「第〇学年、〇〇〇〇さん。あなたを…」と紹介していくのですが、途中、名前を読みあげる度に、2階や3階から拍手や歓声が聞こえることに気がつきました。暖かく、微笑ましい関係性のなか、子どもたち自身がよりよい学校や学級にしようと考え行う今後の活動に、期待がふくらんだ朝となりました。